

## 平成 25 (2013) 年 3 月定例理事会議事録

事務局 佐藤

日 時： 平成 25 (2013) 年 3 月 19 日(火) 13:30~16:40

場 所： 株式会社クボタ 東京本社 10 階 1001 会議室

出席者 (敬称略)

理 事： 山内会長, 木口副会長, 杉本副会長, 麻生, 井田, 恵良, 今西, 鴨田, 神戸, 熊井, 小西,  
里, 佐藤, 渋谷, 白川, 高田, 寺嶋, 戸田, 鳥越, 西, 橋本, 原, 矢島, 山浦, 渡邊  
(出席数/理事総数 25/30)

委員長： 清水

監 事： 大澤, 角田

特別参加： 森田 (トヨタ自動車株式会社)・・・WFC2016 関係報告者

事務局： 佐藤, 細田, 野口

【議長】 山内会長

はじめに事務局から今回の理事会資料に関し, 追加資料の説明 (追記・変更修正・誤記訂正) を行った。  
また室内掲示ポスター3点について説明した。

## 【定例議題】

1. 前回議事録 (平成 25 (2013) 年 1 月定例理事会) が異議なく承認された。
2. 財務に関する事項
  - 2.1 2013 (平成 25) 年 1 月, 2 月 月次収支報告  
鳥越財務委員長より報告があり, 了承された。
  - 2.2 2013 (平成 25) 年度累計及び対前年度比較累計収支報告  
鳥越財務委員長より報告があり, 了承された。
  - 2.3 2013 (平成 25) 年 1 月, 2 月中の会員移動  
事務局より報告があり, 了承された。
  - 2.4 2013 (平成 25) 年 1 月, 2 月 入会会員の承認  
山内会長に代わり事務局より説明があり, 審議の結果異議なく承認された。
  - 2.5 会員連絡不通者リスト (資格喪失対象者 案)  
事務局から現時点で会費未納, 連絡の取れない会員のリストを提示した。リストに記載された会員の  
動向を把握されている方は, その内容について 3 月末日処に事務局に報告するようお願いした。  
学生会員については, 先生に連絡が取れているかどうか, 質問された。  
次年度以降, 学生会員については 1 月末時点で事務局から担当の先生または支部長に連絡すること。  
本件 3 月末の結果をもって資格喪失者とする旨承認された。
3. 各種委員会に関する事項
  - 3.1 長期ビジョン委員会関係報告
    - 1) 第 2 期長期ビジョン策定の件  
白川理事より, 1 月 23 日開催の長期ビジョン委員会報告を受けて, 各委員長から出された推進テ  
ーマについて検討状況の報告がなされた。
    - 2) 中小企業経営者との懇談会報告と中間まとめ報告  
白川理事より, 北海道支部 (1 月 30 日開催), 東海支部 (2 月 8 日開催), 中国四国支部 (3 月 12 日  
開催) 中小企業経営者との懇談会の報告がなされた。引き続き今まで行った 4 支部のまとめを説明し  
課題を明らかにした。  
会長から (会員等から出て来る) ニーズをうまく捉えてそれを橋渡しすることはできているのか?

という質問が出され、「企画委員会で検討のこと。」と指示が出された。

3) 「若手活動支援基金」 寄付集まり状況報告

事務局から3月8日時点の状況を、前回1月23日からの変化と合わせ報告した。会長より「各支部にもご協力をお願いしたい。」と依頼された。

3.3 研究委員会報告

神戸研究委員長より、下記2つの期限付き部会を2年間延長する旨提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。

- ① 銅合金金型鑄造研究部会
- ② レアアースレス高機能鑄鉄研究部会

会長より、今まで2年間行ってきた内容についてこういう場（理事会の場）で報告すること、とご指示があった。

次回理事会での報告を依頼する。

3.4 国際関係委員会報告

寺嶋国際関係委員長より、前回（2013年1月23日）の理事会で提案した4つの技術小委員会の、日本側メンバーを再度提案し、審議の結果異議なく承認された。また寺嶋委員長より具体的な内容の紹介がなされた。

3.5 WFC2016 組織委員会報告

木口組織委員長より、来る2016年5月22日～25日までポートメッセ名古屋で開催する第72回世界鑄造会議（WFC2016）の全体概要及び全体収支予算計画が提案された。また展示会の責任者であるトヨタ自動車森田氏より展示会の計画が提案された。

審議の結果、両者ともに異議なく承認された。これを以て具体的な動きを開始する。

3.6 財務委員会報告

鳥越財務委員長より平成24（2012）年度決算見込みについて報告された。特徴点として以下の説明があった。

収入が12.8百万円程度増えたことに伴い支出も増えたが、総収支はかなりプラスになるため、次のことを実施する。

- ・基金不足になる可能性のある若手研究奨励基金に、年度計画予算対比+2百万円の3百万円を繰り入れる。
- ・基金化されていない日本鑄造工学会大賞の表彰のため、新たに基金を新設（「日本鑄造工学会大賞基金」）し、1百万円を繰り入れる。
- ・長期ビジョンで計画中の新たな活動を推進するため、基金を新設し、3.2百万円繰り入れる。（「長期ビジョンテーマ活動基金」）
- ・その他計画外費用として、移転に伴う費用を1.2百万円使用する。

以上の内容に関し審議の結果、異議なく承認された。

4. 学会運営及び行事に関する事項

4.1 平成25（2013）年度事業計画

事務局より、公益社団法人日本鑄造工学会平成25（2013）年度事業計画（案）の報告がなされた。一部追加修正を行うことで異議なく承認された。

4.2 平成25（2013）年度予算案

鳥越財務委員長より平成25（2013）年度予算案について説明がなされた。特徴点として以下の説明がなされた。

初めに収入での特記事項。

- 1) 会費収入は2012年度並み。
- 2) 広告収入は2012年度レベルを確保する。
- 3) 図書発行事業は「新版 鑄鉄の材質」が一段落してきたことを考慮し減額した。
- 4) 大会講演会は2012年度並で計画した。

これにより84,860千円と2012年度より約600千円増加した。

次に支出での特記事項。

- 1) 長期ビジョンテーマ活動実践のための学会活動活性化予算の基金繰り入れを増額する。  
若手活動支援基金 400 千円, 若手研究奨励助成金基金 2,500 千円, 大賞基金 1,000 千円, 長期ビジョンテーマ活動基金 2,000 千円
- 2) 国際関係費は WFC2016 準備会議費を増額, また WFO 技術小委員会参加費の予算化。
- 3) 長期ビジョン委員会関係費の増額。
- 4) その他新事務所の登記費用, 選挙費用等計上した。

以上説明後, 審議の結果, 異議なく承認された。

なお 2013 年度予算立案審議に先立ち, 白川庶務主査担当理事より, この計画に基づいた鑄造工学会保有のすべての基金に関し, その残高と, 2013 年度, 計画的運用後の備蓄年数試算が紹介された。

#### 4.3 第 163 回全国講演大会準備状況報告

北陸支部矢島支部長より, 平成 25(2013)年 10 月 25 日から 28 日に開催される第 163 回全国講演大会の準備状況が報告され, 了承された。

### 5. 各種選考に関する事項

#### 5.1 2013 (平成 25) 年度「日本鑄造工学会大賞」受賞者提案の件

木口副会長より, 本日午前中開催した大賞選考委員会の結果が報告され, 2013 年度の受賞者として「野口昌彦」が異議なく承認された。

#### 5.2 2013 (平成 25) 年度「論文賞」及び「網谷賞」推薦の件

西編集委員長より, 2013 (平成 25) 年度「論文賞」及び「網谷賞」の推薦があり, 審議の結果, 異議なく承認された。

#### 5.3 2012 (平成 24) 年度「奨励賞」受賞者推薦の件

事務局より, 2012 (平成 24) 年度「奨励賞」の推薦があり, 審議の結果 66 名が異議なく承認された。  
なお本賞については, その趣旨が本当に生かされているかどうか等の検証も含め, 規程の見直しが必要では, という論議があった。

#### 5.4 2013 (平成 25) 年度若手支援・助成金等受給者決定の件

木口副会長より, 本日午前中開催した若手研究奨励助成金, 若手活動支援金, 新東工業鑄造技術研究助成金選考委員会の結果が報告され, 審議の結果, 異議なく承認された。

#### 5.5 学会外表彰受賞者報告

事務局より 2012 (平成 24) 年度, 学会外の表彰制度に応募した結果の報告がなされ了承された。今年度は文部科学大臣表彰科学技術賞に, 株式会社今西製作所 代表取締役社長 今西寛文氏及び同型技術部担当部長 糸川信也氏が「紙積層模型を使用する精密鑄造品の製造システムの開発」での受賞が内定した。

### 6. 各種規程見直し

#### 6.1 各種規程見直し計画の件

白川理事より, 1 月の理事会以降の規程見直し進捗状況の報告がなされた。

#### 6.2 見直し規程の論議承認の件

- 1) 国際関係委員会規程: (寺嶋委員長より説明) 一部の誤記修正と不要部の割愛で承認された。
- 2) 日本鑄造工学会大賞基金規程: (白川理事より説明) 本規程は特に意見もなく承認された。
- 3) 若手研究奨励助成金規程: (白川理事より説明) 主な見直し事項は, 運用面の規程 (8-4: 今回提案) と, 基金の規程 (6-3) を分けたこと。また「誓約書」の提出を義務付けたこと。  
本件に関しては以下の論議が行われ, 次回理事会で再審議することになった。

・第 2 条 対象年齢の見直し 「45 歳以下」に変更する

・第 5 条 公募案内の第 6 条との整合を図ること

・規程細則 交付件数を「原則 5 件以内」に変更する

また申請書類の記載内容に選考にあたり考慮すべき項目を追加する。

- 4) 技術相談室規程: (白川理事より説明) 相談者が維持会員のみとされていたのを「会員」に, また「相談内容を会誌に掲載することができる」と変更し, 運用上のプロセスの変更も行った。これに対して,

相談者に関し、法律上の問題が無いかどうか確認の上再提案するよう会長から指示された。

- 5) 会誌、その他関連出版物への広告掲載内規：(白川理事より説明) 掲載広告に関する確認者を事務局から編集委員長に変更。本規程は特に意見もなく承認された。

## 7. その他の事項

### 7.1 支部規則改定の件 (北陸支部)

北陸支部矢島支部長より支部役員(代議員, 理事)の人数変更の提案がなされ, 審議の結果, 異議なく承認された。

### 7.2 第5回世界工学会議 (WECC2015) 開催の件

事務局より, 日本工学会が主催となり第5回世界工学会議 (WECC2015) を2015年11月30日から12月2日にかけて京都で開催する旨報告がなされ, 了承された。

### 7.3 日本鑄造工学会2013年度事務所休日の日

事務局より, 2013年度の休日に関し報告がなされ, 了承された。

### 7.4 「新版 鑄鉄の材質」販売状況報告

事務局より, 現在までの販売状況が報告された。3月15日時点での販売数は789冊である。

なお本刊行物の販売状況報告は今回で終了し, 今後は学会で発行する主力刊行物について節目ごとに報告する旨事務局から説明があり了承された。

### 7.5 次回理事会開催日及び2013年度の開催日の件

事務局より, 山内会長に代わり次回理事会開催日の説明があり承認された。

【日時】2013 (平成25) 年5月25日 (土) 12:30~13:50

【場所】山梨大学甲府キャンパス

2013年度開催日についても資料に記載された通り承認された。

【補足】会長, 監事2名が議事録署名人となる。

【当日配布資料】2013. 3. 19 理事会追加資料 (1~27 頁)

以上